



熊倉町行政区長会会長・

吉沢行政区長

荻内 昭子さんに聴く

1950年生まれ。

関東地方で教職員として勤務し、平成4年に退職。その後実家がある熊倉町にUターン。

現在は夫と二人暮らし。熊倉町行政区長会会長および吉沢行政区長として活動している。

また、食生活改善推進員として、地域に食の大切さを伝えていく。趣味は読書、小物作り、旅行。楽しみは、塩川地区に住む娘夫婦の子育て応援として、孫の面倒を見ること。



※内閣府男女共同参画局のサイト

行政区長になったきっかけを教えてください。

吉沢行政区長は、輪番制なので今回で3回目になりました。家庭内で誰が区長を引き受けるかという話し合いで、私がやることになりました。熊倉町行政区長会会長は、区長会で承認していただき、このような大役を仰せ付けられました。

行政区長の仕事で大変なことありますか。

いろいろな方から「大変です」と言われますが、実際のところ大変だと感じたことはありません。むしろ、さまざまなことを経験でき、たくさんの方々との出会い、多くのことを学べるので、引き受けて良かったと思っています。

まだまだやるべきことはたくさんありますが、今できることに誠実に取り組んでいきたいと思っています。

行政区長の他に活動していることはありますか。

食生活改善推進員として活動しています。きつかけは、生活習慣病のリスクが全

国でも福島県は高く、会津でも喜多方市が高い位置にあることを知り、少しでも地域の役に立ちたいという思いを持ったからです。

自分の健康ももちろんですが、地域の健康寿命を延ばし、みんな元気で老後を楽しみ暮らしていきたいですね。



真剣な眼差しで行政区の仕事をする荻内さん

女性の多くは管理職になることに抵抗を感じているようですが、アドバイスなどあればお願いします。

現在の日本は、地方に行くほど、まだまだジェンダーに縛られることが多いと思います。それを打破するには、女性も男性と同じ土俵で力を合わせ、みんなで生活しやすい社会をつくっていくことが重要だと思います。

大切なことは、自分が輝いているか、自分らしく生きているかどうかではないで

しょうか。輝く女性が増えてくるといいなと思います。

男女共同参画社会とはどのような姿と考えますか。

男女が平等な立場で意見や力を出し合い、協力して進めていく社会です。お互い人間として認め合い、尊重し合い、それぞれが個性を發揮して頑張れる社会だと思います。

今後の抱負について

地域の方といつまでも元気で楽しく生活ができる環境づくりをしていきたいと思っています。そのためには、地域コミュニティづくりが一番大切であり、元気で生活するためには健康づくりも大切なので、食生活改善推進員の方々と力を合わせて、心身ともに健康なまちづくりに関わっていききたいと思っています。

取材内容は市ホームページにも掲載しています。

問 企画調整課 企画調整班
☎(24)5209